

エクステリア情報誌 春号

# EX.VIEW

EXTERIOR  
VIEW  
2006・Vol.28

## INDEX

2006年 春号・Vol.28

1-2

「空の下に 自在空間」  
ミューテリアの誕生

3-6

事例ノート

7-10

古橋宜昌の  
EXプランニング講座

11-14

第4回 エクステリア  
プランニングコンテスト

15-17

2006年  
エクステリア新商品展示会

18

御庭会通信



# 空の下に 自在空間!

エクステリア建材事業部コンセプト

## 「庭に住まう」という発想から

このコンセプトは、「庭に住まう」つまり庭の中に家があって、暮らしがある、という考えから発想したものです。「空の下に自在空間をつくり、その自在空間をさまざまに活用し、楽しんでいただきたい」という思いが込められているのです。束縛がなく、心のままに広がっていく.....そんな自由な空間を、さらに高品質で付加価値のある「自在空間」として、さまざまに具現化し提案、提供してまいります。

## 「空の下に自在空間」

“家の外はすべて、われわれエクステリアの無限に広がる事業領域である”という考え方を「空の下に」という言葉に込めています。そしてこのコンセプトの実現に向け、新しい商品カテゴリーとして「ムーテリア」を誕生させました。

## ムーテリアの誕生

新カテゴリー「ムーテリア」は、「ガーデンエクステリア」「ウォールエクステリア」「パブリックエクステリア」の各分野を超えて展開してまいります。家の中でもなく外でもない、“インテリア”“エクステリア”という区分を超えて、風を感じ、雨の音に耳をかたむけ、陽射しを楽しむ。そんな居心地のよい新付加価値空間、言い換えれば「もう少しそこにいたくなる空間」。それが新カテゴリー「ムーテリア」です。私どもは、この新カテゴリー「ムーテリア」を大きく育ててまいります。もっと居心地のいい空間を演出したい。いろいろな人のいろいろな夢をかなえる空間を、さまざまな商品を通じて提案していきたい。そして、外に広がる空間を、もっと素敵に、もっと自由に、もっと楽しく活用してもらいたい。「空の下に 自在空間!」それが、私たちの合言葉です。



ムーテリアとは、MUTUALITY ミューチュアリティ（相互関係）とエクステリアを結び合わせた造語です。



開放感のある大きなスペースは、アウトドアリビングとして活躍。ランチの場として、ちょっとした屋外ホームパーティの場として.....また、雨の日でも子供たちは元気に庭で遊べます。

## 新カテゴリー「ムーテリア」の フラッグシップ商品誕生!!

「ムーテリア」の考え方から生まれた新商品が今秋発表されます。10mのワイドスパンで、開放感のある大きなシェード、中央からシンボルツリーが飛び出した屋根シェードなど、使い方はさまざま。多様な自在空間を実現します。用途、生活シーンが自在だけでなく、構造体の自在性が可能にした、施工や形状の自在性など、その秘めたる市場性は多大です。



前庭でもあり、玄関へのアプローチでもある自在な空間。シェード中央からは、庭のシンボルツリーが頭を出しています。トラス構造ならではの自在性が、自由で機能的なプランを可能にします。



たとえば、隣接する二世帯共用スペースには、両世帯をゆるやかにつなぐ、楽しいパティオ空間としても使えます。



フロントヤードからボーダーヤードまで、勝手口、テラスへと延び、トータルなアウトドアリビングのシェードとして活用できます。

「プロ」としての豊富な知識で、  
お客様のイメージを形に。  
全員が設計も営業もこなし、  
最後まで責任をもって

以前はエクステリア関連会社に勤めていましたが、そこはハウスメーカーの下請けが主体で、お客様からの“生の声”を聞くことが少なかったのです。そこで、御一緒にこだわりのある空間“創り”を目指すべく3年半前に当社を設立。仕事の方も長年の人脈関係とお客様からの紹介のおかげで当初からエンドユーザー主体でやってきました。



代表取締役・周防清様

販促活動は当初から積極的に行い、折り込みチラシ(2カ月ごと)やポスティング、さらに1年ほど前からはホームページや雑誌掲載などにも力を入れています。現在、99%がエンドユーザーのお客様で、最近はお客様からの紹介もかなり増えてきています。実績は月に6~7件です。スタッフは私を入れて4名、それに経理1名です。4名とも設計も営業もこなし、1人のお客様とプランニングから完成までお付き合いします。そうすれば責任のある仕事ができますし、お客様からも信頼していただけますから。

プランニングは手描きです。建築も外構もアートであると思います。だから人の手の繊細なラインや色使いを大切にしたいんです。それに、お客様は自分のために一生懸命手描きしてくれたと感動していただけますね。

スタッフに常々言っているのは、「プロであれ」ということ。たとえば「シンプルモダン」「アジアスタイル」といった概念や、素材や色のイメージなども、なんとなく知っているのではなく、きちんと理論付けできなくてはなりません。また、割れやすい石とか、吹き付けた面はこういう心配があるとか、問題になりそうな箇所は納得していただくまできちんと説明することも大切。それができてはじめて、お客様の漠然としたイメージやさまざまな要望をきちんとした形にまとめ上げ、満足していただけるのですから。

さらに、エクステリアは建築と土木の橋渡しをする重要なジャンルだと思います。ですからそういった関連分野の勉強もしていくように、折にふれて必要な本などをすすめています。



スタッフはプロ集団、全員が設計も営業もこなし、1人のお客様を最後まで担当。製図は手描きです。

まだまだ学ぶことばかりです  
アドバイザー  
石川由紀恵様

「お客様に喜んでいただきたーい心で仕事しています。エクステリアは素材選びから植物の種類、商品知識、新しいデザインなど、学ぶことがまだまだたくさんあって……。手描きは大変ですが、ソフトな雰囲気や夢がありますね。社長は熱血ですが、ときどきオトボケの楽しい方です(笑)」



【後列左から】  
澤野智規様、代表取締役・周防清様  
【前列左から】  
石川由紀恵様、堀江聡様



【エクステリア全景】  
シャープでモダンなコンクリート打ち放しのガレージ。門まわりと30年の年輪を感じさせる苔むした重厚な石組の対比がまさに絶妙。和風の住まいや松などの樹木とも美しく調和しています。

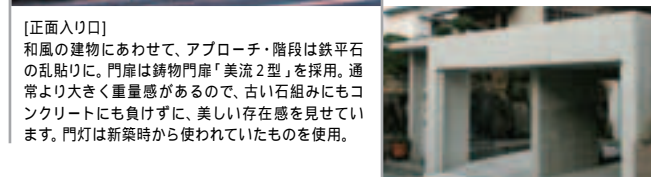
古い石組みを生かした和モダンのリフォーム

Y様邸

築30年で老朽化し、全体的に使い勝手が悪くなっていたガレージまわりをリフォーム。勾配が急なうえに前の道の交通量が多く、車の出し入れが難しいのを改善してほしい、防犯も考慮してほしい……といったご要望をもとに、勾配をゆるやかにして車を出しやすくした、コンクリート打ち放し仕上げのエントランスを提案。既存の古い石組みとの調和が絶妙で、斬新な和モダンの雰囲気は、3世代のご家族全員から喜ばれました。



【アプローチから門へ】  
アプローチの階段の新旧のつなぎ目は、わざと変化をもたせて楽しく演出。手前の古い石と、奥のシンプルなコンクリートのコントラストが美しく、そこに鉄物門扉の造形がアクセントになっています。



【正面入り口】  
和風の建物にあわせて、アプローチ・階段は鉄平石の乱貼りに。門扉は鉄物門扉「美流2型」を採用。通常より大きく重量感があるので、古い石組みにもコンクリートにも負けずに、美しい存在感を見せています。門灯は新築時から使われていたものを使用。

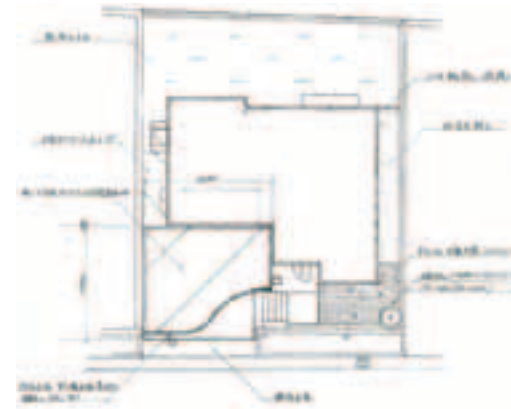


【ガレージ部分】  
オープンなボックスガレージで、2台の車を駐車できるガレージ。この写真ではシャッターが上がっていますが、車を使わないときはシャッターを下ろせば、前面がスッキリとした壁面になり、防犯上も安心です。

カーポートのリフォームで、車好きなご主人も大満足!

T様邸

カーマニアのご主人の「カーポートとフェンスをウッドでリフォームしたい」というのが当初のご要望でしたが、カーポートは予算の関係もあって木製を断念。しかし採用したカーポート「スーパーポートG1」を非常にお気にめされ、今は大満足のご様子です。「雨が降っても屋根があり、屋根の一部が透明で明るく、休みの日はほとんどカーポートで車をいじってますね」(奥様談)



【アプローチ】  
ウッドフェンスに合わせて床も貼り替え、ナチュラルな雰囲気に。カーポートの柱を邪魔にならないところに逃がすことができたため、アプローチへの動線がスムーズ。これも「スーパーポートG1」の特長のひとつです。手すりは「エトランボ」。



【エクステリア全景】  
カーポート、アプローチ、フェンス部分などをリフォーム。アルミ製のカーポート、木製のフェンス、石貼りの床などそれぞれが建物にマッチして、バランスのとれた落ち着いた外観に。



【大型カーポート】  
カーポートには「スーパーポートG1」を採用。がっしりと骨太で直線的なフォルムが印象的です。アーバングレー色のために重く感じることなく、建物とも自然に調和しています。



【カーポートの屋根】  
屋根はシルバー色の折板ですが、一部に透明のポリカーボネートを組み込んだため明るく、車の作業もしやすいと好評です。奥に見える木製の物置はご主人の手づくり。中には車関係のパーツや工具がぎっしり収納されています。



【カーポートの屋根】  
屋根はシルバー色の折板ですが、一部に透明のポリカーボネートを組み込んだため明るく、車の作業もしやすいと好評です。奥に見える木製の物置はご主人の手づくり。中には車関係のパーツや工具がぎっしり収納されています。

【アプローチからカーポートを見る】  
敷地や建物の位置に合わせて、カーポートの柱の位置や屋根の形状を変えられるので、後付けとは思えないほどしっかりとおさまっています。

300坪の展示場に  
イベント時には250組も来場!  
「クレームもチャンスに」の姿勢で  
お客様に接する



代表取締役・河合勇策様

左官の専門会社として創業34年の実績を持ち、着実に地域に貢献してまいりました。その後、左官が簡式工法に変わり左官の仕事が減っていったことにより、新たにエクステリア専門の子会社を創業させたのが、ハマニグリーンパークです。今年で創業20年になります。旧浜北市は樹木の多い「緑の町」なので、小鳥が来るような自然な庭づくりをめざし、社名に「グリーンパーク」という名前を入れました。そしてオープンと同時に300坪の展示場をつくりました。というのも、当初からエンドユーザーのお客様をターゲットにしていたからです。2カ月ごとにチラシを配布するなど、広報活動も盛んに行っていました。現在は春と秋の年2回、展示場でイベントを行っています。2日間で250組も訪れるなど盛況で、地元のお客様も楽しみにしてくださっています。そうした活動の甲斐もあって、現在、お客様の7割はエンドユーザーです。スタッフは、社長と所長以下、営業5名、コーディネーター4名、総務1名、現場2名。実績は月に60件、年商は4億円を達成しています。

モットーは、常に情報のアンテナを張って、いいものはどんどん採り入れていくこと。キャドも20年前から導入しましたし、展示場のデザインなども若いスタッフの感性を積極的に採用しています。また、左官からスタートした会社だけあって、石や土など自然素材を使った塗り壁や土間工事は得意です。アフターサービスも重視。現場では必ずアンケートを取り、営業態度や仕上がりの満足度などをお聞きして、今後の参考にしていますし、葉書やカレンダーでの挨拶は欠かさず行っています。また「クレームこそ勉強のチャンス!」という姿勢で、クレームが起きたときの対処はとくに大切にしています。

施工に関しては、「安全推進協議会」を年1回開催し、施工の安全や仕事のマナーといった研修も行うなど、より質の高い仕事をめざしていますし、また将来を見据えて、若い左官工の育成にも取り組んでいます。



300坪の敷地を生かし、奥の半分はテーマパークとして、ゾーンごとに「ごちそうガーデン」「けむりハウスガーデン」「バードバスと山野草ガーデン」などと名づけ、楽しい生活提案を行っています。手前の半分は、石やレンガ・ブロックなどの素材や、門扉・塀・デッキといった商品を展示。さまざまな石材を使った床貼りのバリエーションも紹介されています。

池を掘った野趣豊かな庭。枕木でつくったオリジナルのピオトープが印象的です。

カムフィワイドでダイナミックに  
F様邸

広い敷地にダイナミックなカーポートを設置。手前に2台の駐車が可能。カーポートは「カムフィワイド」を採用。アーバングレー色が建物とも自然に調和しています。周囲は「ニューカムフィ」5型、「ニュータウンリード」3型のフェンスで囲み、敷地をしっかりとガードしています。



【エクステリア全景】  
建物とカーポートのバランスもよく、アプローチの塀がアクセントになった印象的なエクステリア。カーポートの屋根や、アプローチの塀などに曲線を使うことで、ダイナミックながらもホッとするような柔らかな印象を演出しています。



【ルーフバルコニー】  
建物の底の下に組み込んだ「グッドエバー」。アーバングレー色が建具の色と同じこともあって、違和感なく溶け込んでいます。これだけでも屋根があればお子さんの遊び場にもなり、なにかと便利。手前のフェンスは「ニューカムフィ」5型を採用。



【アプローチ】  
斜めに入ること、玄関まで距離もたせ、曲線や塀の穴などで楽しいリズムをつくっています。



【エクステリア全景】  
ベージュを基調にした建物を意識しながらも、あえて同じ色を使わず、焦げ茶の枕木と明るい塗り壁の塀をアクセントにした絶妙なデザイン。サイクルポートはアーバングレーを採用したため、建物の一部のように溶け込んでいます。基本的にはオープン外構ですが、一部に塀を立てたり、木を植えたりして外からの視線をさえぎり、奥の住まいをさりげなく目隠ししています。

自然素材で温かみのあるエクステリア

N様邸

住宅の前庭に、車2台分の駐車場と、バイクや子供の自転車を置くサイクルポートを、というのが施主様のご要望。サイクルポートには「カムフィR」を採用。「朗らかで暖かいご家族の雰囲気を活かし、枕木や塗り壁で温かみのあるエクステリアを心がけました。大変満足していただき、後にお客様の紹介もしていただきました」  
(設計担当・鈴木様談)



【アプローチ】  
レンガ貼りの床がゆるやかに曲がりながら玄関へ、レンガの間にはクローバーが生え、グリーンアクセントに。



【サイクルポート】  
ご主人の趣味のバイクと、お子様の自転車を置くスペースを、「カムフィR」でつくりました。屋根があるためバイクのお手入れもここでできて、ご主人様のお気に入りスペースに。



【駐車場の床】  
ただコンクリートで固めるのではなく、レンガや枕木などで造形的に、車が停まっていなくても、これなら美しい。

展示場 ゾーンごとの生活提案

楽しい素材や商品の展示も充実



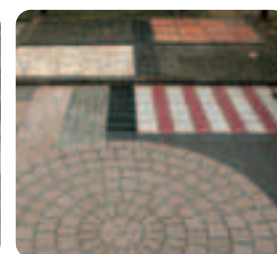
「クール&スタイリッシュガーデン」では、「ラファール」を使って、コンクリート仕上げでモダンなデザインを提案。



「ごちそうガーデン」では、バーベキューのできる楽しいアウトドアガーデンを提案。



鉢や置物、傘立てなどエクステリア関連の小物もたくさん用意されています。



入り口の床にはさまざまな床貼りのパターンを展示。お客様の参考に。



「庭用心」を展示するなど、最近はセキュリティにも力を入れています。

## カースペースのデザインテクニック

敷地に対するカースペース(駐車場)面積の割合は意外と大きく、この部分を単なる土間コンクリートで仕上げると、昼間車がない時など単調で固いイメージを与えてしまいます。また、狭小地においてお庭とカースペースを両立させようとするならば、その配置や植栽とのコーディネートも必要不可欠となってくるでしょう。今回はカースペースの標準的な基本寸法とレイアウトパターン、床のデザインのポイントや植栽をどう採り入れるかを、事例をあげて解説していきたいと思います。

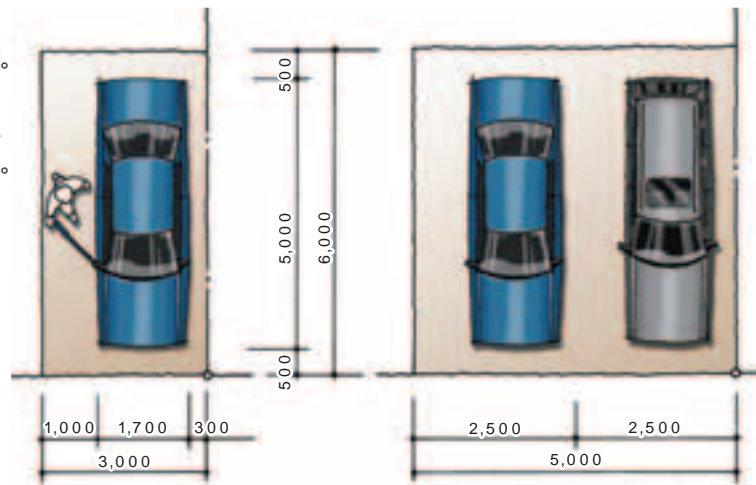
### 基本寸法

1

どんなにデザインが良くても、物理的に車が納まらなくてはなりません。まずはしっかりと必要寸法を頭に入れておきましょう。

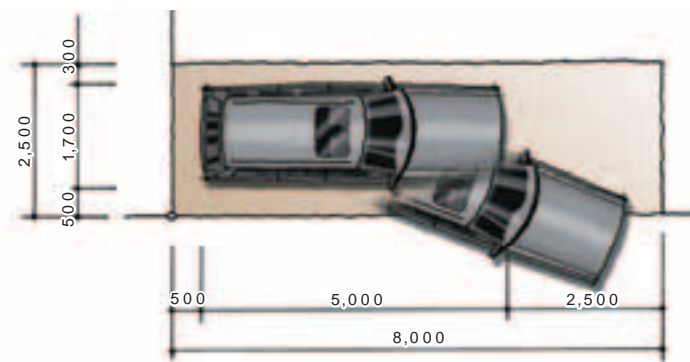
#### 直角駐車の場合

1台駐車の場合は間口3.0m、奥行き6.0mを基本とします。車の幅は1.7m程度ですが、運転席側のドアを空けるスペースもみておかななくてはなりません。2台以上並べて駐車する場合は1台あたり2.5mを目安に確保しておきます。



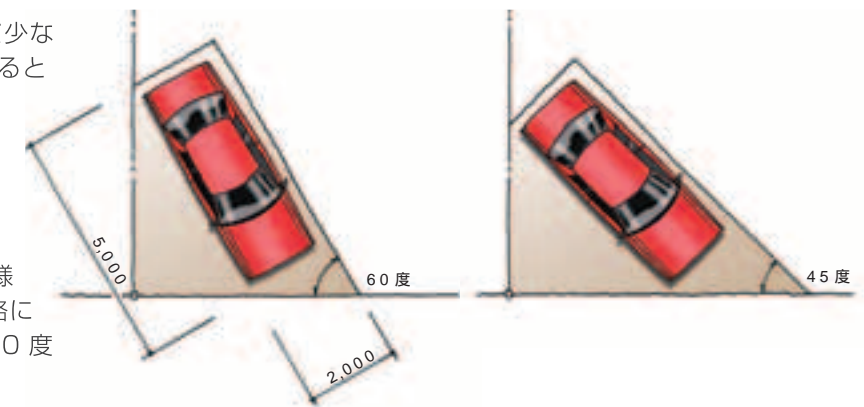
#### 平行駐車の場合

間口寸法は8m、奥行き2.5mを基本とします。車そのもののスペースとしては間口5.5mで納まりますが、出入りのためのスペースとしてその前方を2.5m程度あけておく必要があります。何も工夫しないで計画すると、道路面のほとんどが土間コンクリートになってしまうので注意してください。



#### 斜め駐車の場合

斜め駐車の実例はまだ少ないですが、うまく処理すると使い勝手も良く、個性的なデザインとすることが可能です。奥行きは短い側で最低でも5m確保し、そこから車幅+αとして2m取る様にしましょう。角度は道路に対して60度・45度・30度が目安です。

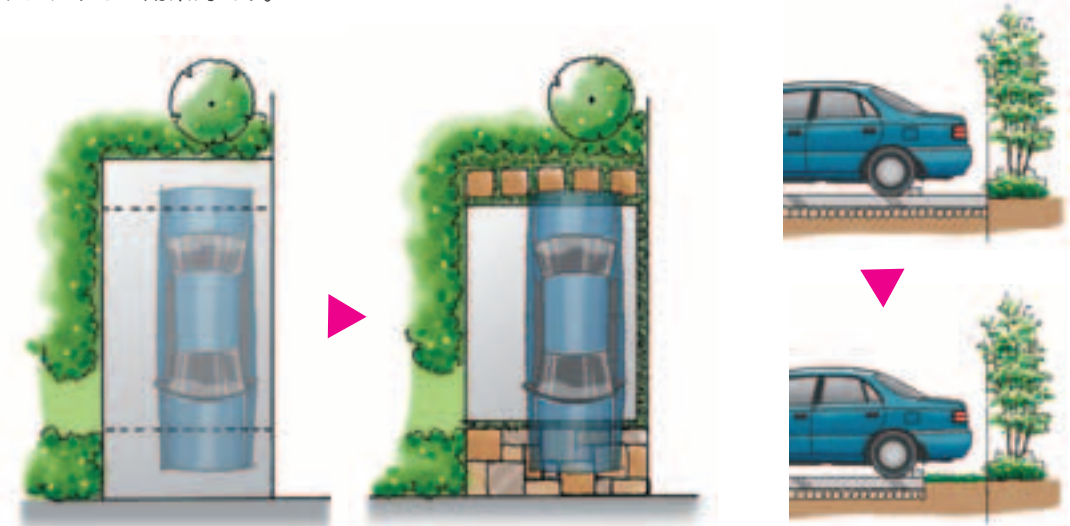


### 床のデザイン

2

#### 基本的な考え方

床の一部に天然石やレンガでアクセントを付ける場合は、最優先で道路側に入れましょう。その後の土間コンクリートとの境目には草目地を設けるときれいに納まります。また、後部80cm程度はタイヤが乗らないので無理してコンクリートを打たないで、平板と地被植物でアレンジすると効果的です。



アクセントを付ける場合は道路側を最優先に。又、トランクからの荷物の出し入れを考慮して地被植物の中に平板などを配置する。

駐車場後部はタイヤが乗らないので無理してコンクリートを打たない。

## Furuhashi Norimasa

生年月日:1958年4月6日  
 東京電機大学理工学部建設工学科卒。  
 有限会社エクスプランニング代表取締役・エクステリア&ガーデンアカデミー東京校長  
 一級建築士・一級造園施工管理技士・一級土木施工管理技士。  
 JAG日本ガーデンデザイナーズ協会会員・英国王立園芸協会会員・同推奨品認定委員  
 大手ハウスメーカーのエクステリア部門を経て、1997年、日本では珍しいエクステリアと  
 ガーデンの設計業務を請け負う会社「エクスプランニング」を設立。  
 個人住宅のエクステリア&ガーデン設計は年間500棟を越え、  
 その設計事例は多くのガーデニング専門誌等で紹介されている。  
 ホテルオークラで開催されたガーデニングショーでは「イギリス大使夫人の庭」のデザインと  
 施工を担当。設計業務の傍ら専門学校や英国王立園芸協会などのセミナーの講師、  
 デザインコンテストや「TVチャンピオンガーデニング王選手権」の審査員なども務める。

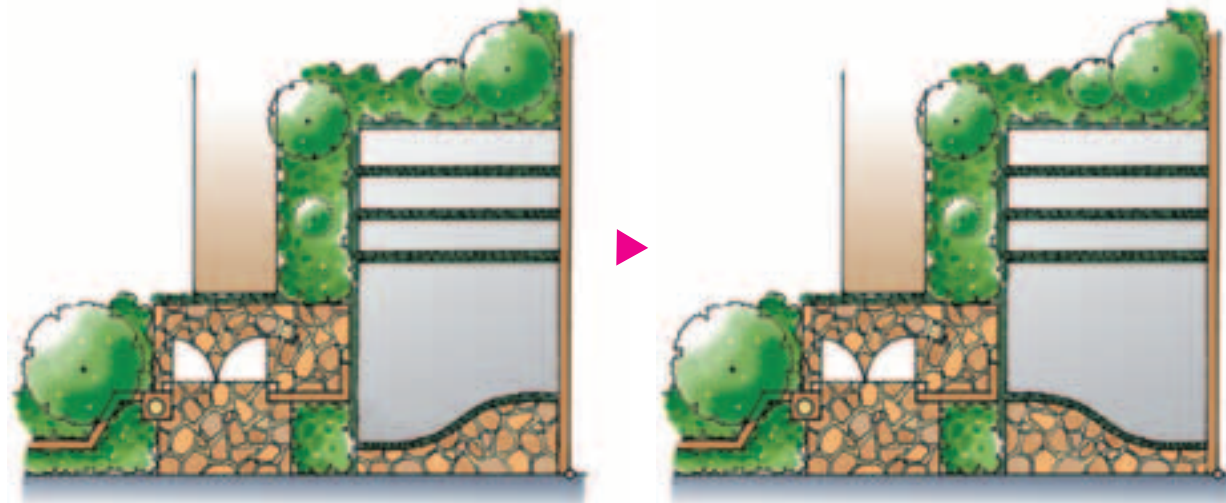
ホームページアドレス <http://explanning.m78.com>



ふるはし のりまさ  
古橋 宜昌

### 曲線を入れる時の注意点

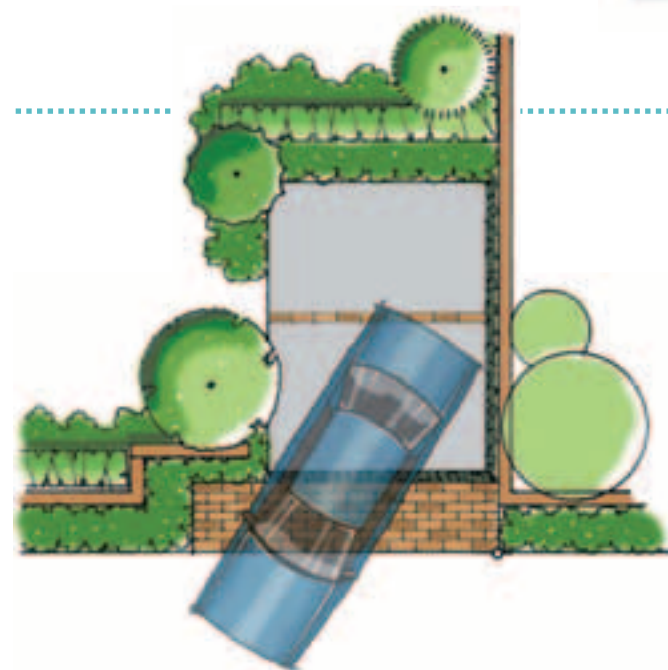
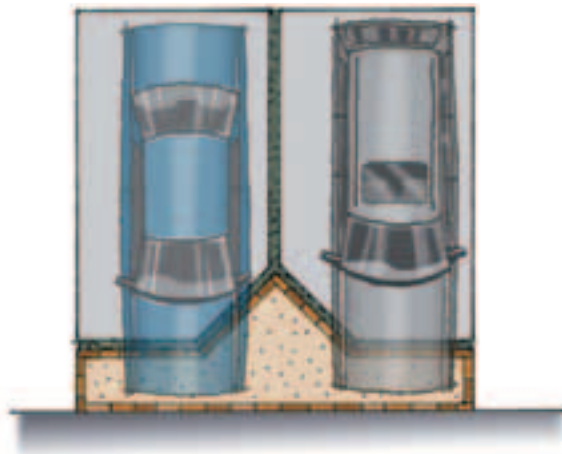
道路側のアクセントを曲線に入れる場合、例えば下図のようなパターンが考えられます。どちらも工事金額は同じですが、やはりメインである「門まわり」へ向かってボリュームを付ける方が、視覚的には安定感が出るものです。



アクセントの付け方ひとつでイメージは大きく変わる

### 2台駐車のポイント

2台並べて駐車する場合のポイントとしては、床面積が大きくなり1台駐車よりもさらに床が目立ちますので、アクセントの付け方を工夫しましょう。2台分の床のデザインが合体して一つの模様に見えるようにすると良いでしょう。また、それぞれの車の駐車スペースの境目の目安として床にラインやポイントを設けると使い勝手も良くなります。

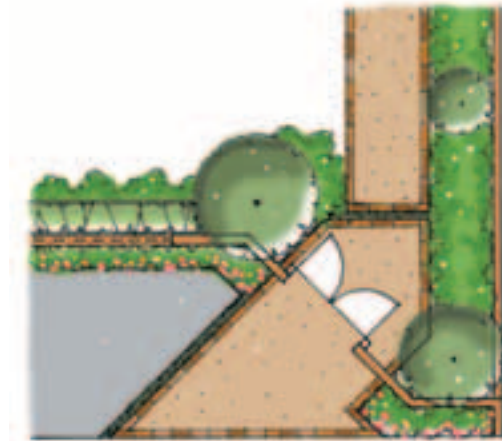
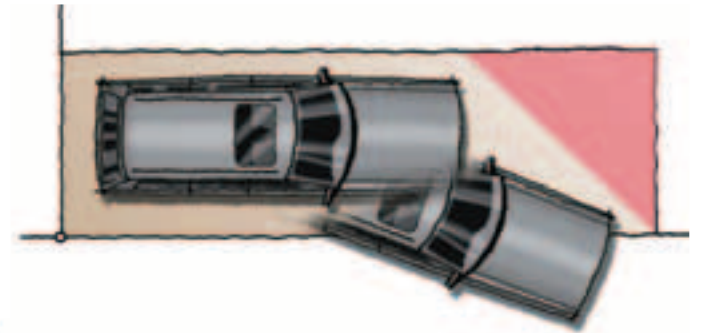


### 全面道路の幅員が狭い場合のアイデア

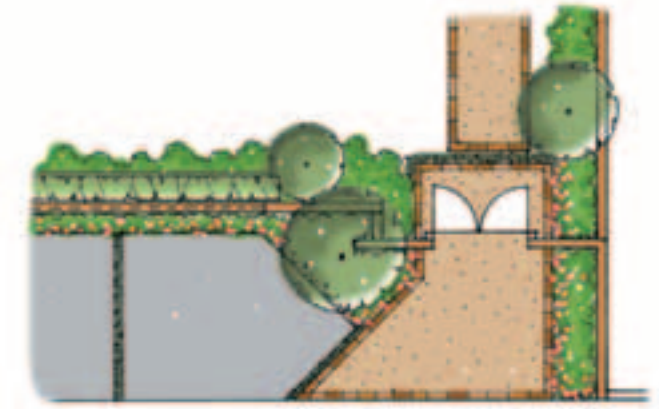
通常、全面道路の幅員は4m以上確保されていますが、まだ道路後退が済んでいない場合、4m未満の道路も実際には多くあります。直角駐車の間口寸法は3mを基準としていますが、これはあくまで道路の幅員が4m以上ある場合ですので、狭い道路に面している場合は間口をもう少し広く取りましょう。ただし、奥まで広くする必要はないので、隣接する塀を後退させたりして、道路側だけを広くとれば経済的に処理することができます。

### 平行駐車のポイント

平行駐車を採用する場合、道路に対して8m程度のスペースをあけておくこととなります。この場合は単に四角いスペースとして考えるのではなく、車の乗らない部分(右の図の赤い三角部分)を植栽スペースや門まわりとして積極的に活用することがポイントとなります。アプローチも兼ねているのであれば、床の仕上げを変えて視覚的にアピールするのも良いでしょう。



斜めに門を構えた例

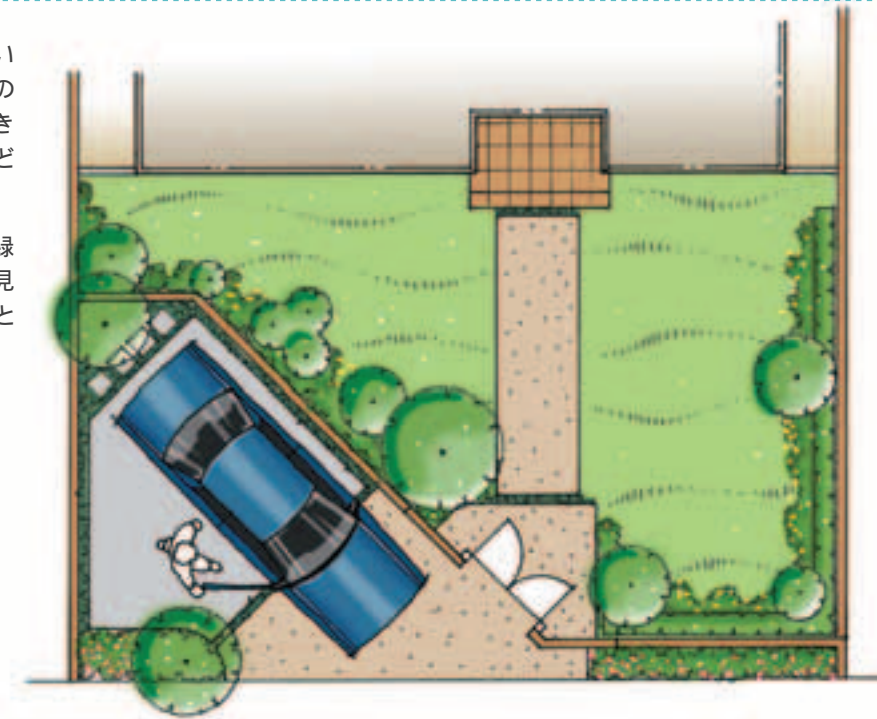


道路と平行に門を構えた例

### 斜め駐車のポイント

斜め駐車で最も注意したいのは道路側の処理です。そのままでは間口が大きく開き過ぎるので植栽スペースなどを設けて調整してください。

そうすることで道路面の緑量が確保され、街並として見たときに潤い豊かな景観となるわけです。



### 古橋宜昌の EXプランニング講座

**おわりに** 全4回にわたってエクステリアのデザインについてお話をさせていただきましたが、少しはお役に立てましたでしょうか？  
全国のエクステリアに関わる人たちが同じ志を持って、丁寧にお仕事をしていけば、やがて日本の街並をも変えられるのではないかと考えています。  
読者の皆さんがプロとしてのプライドを持って頑張ってください。切に願っております。ありがとうございました。



スペース提案 1部門

(株)ナテックス 埼玉南営業所

## コンテスト総評

審査委員長 笠島 孝至氏

ガーデニングというブームも久しくなり、単なる園芸趣味からエクステリアとしてのひとつの空間デザインが、住宅デザインの中で確立されつつあります。また、「ヴァリュー、Jスタンダードと日本的なものの価値観の見直しから、和モダンへのデザインの潮流も感じられます。日本の伝統様式では、西洋風とは違い、濡れ縁、土間といわれる空間がインテリアでもなくエクステリアでもない空間として、重要な空間として利用されてきました。本年より、三協アルミでは、「ミューテリア」というカテゴリーを提案して、このような空間、外でもない、内でもない場にたいしてエクステリアデザインが貢献しなければならないと考えだしています。眺めるための庭から住むための庭を、外と内のインターチェンジとしての、あいまいな空間の心地良さを究め、もっとそこに居たくなる、そのような場への提案をテーマとして捉えています。さて、本年のプランニングコンテストの作品のなかでも、「庭に暮らす」事を大切に提案が多く見られ、今後のエクステリアデザインへの方向性を感じさせていました。「空の下に自在空間」。これは、三協アルミが本年より継続してゆく事業コンセプトですが、私達の提案の場の広さが「空の下に」という言葉に込められています。皆様の今後のご活躍に期待する次第です。

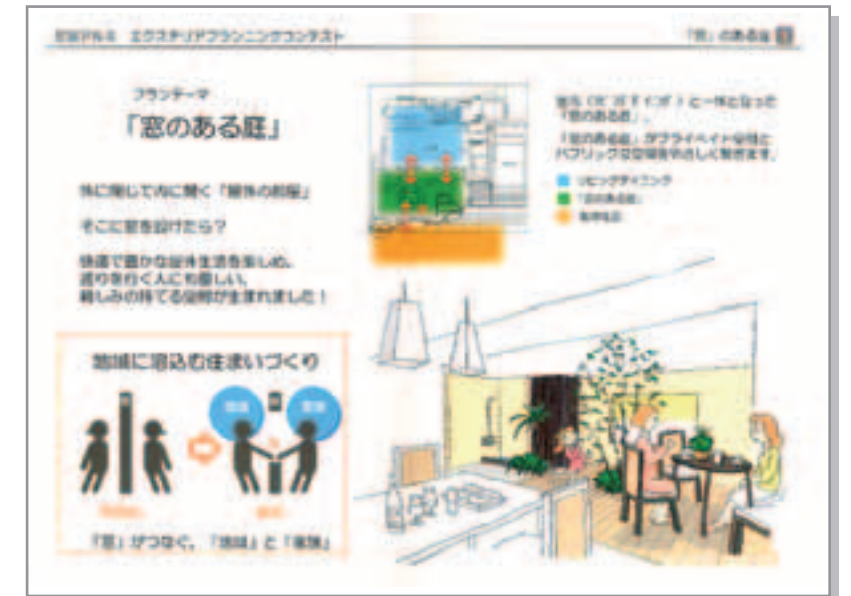


笠島 孝至氏 プロフィール

環境造形デザイナー  
株式会社スーパープランナーズ代表取締役  
70年-千葉大学工業意匠学科卒  
71年-早稲田大学建築専修学部で学ぶ  
75年-株式会社スーパープランナーズ設立  
東京サミット等のイベント会場デザイン、  
店舗及び住宅設計、  
造園デザイン等を手がける。



エクステリアにもう一つのリビングをという発想は、以前より提案されて来た事ですが、この作品のように積極的に、外に住む事を提案したプランニングには、新鮮さを感じました。庭に窓を創るというアイデアのユニークさも斬新で、プライベート空間とパブリック空間を繋ぐ庭のあり方、その中間地帯をデザインするという試みには、今後のエクステリアデザインへの方向性を示した作品となっています。



(株)ナテックス 埼玉南営業所

### A部門 新世代向け部門

#### 金賞 (有)ガオー

- 銀賞 積水ハウス(株) 福山支店
- 銀賞 (株)内池工業
- 銅賞 (有)トータルエクステリア
- 銅賞 NT DESIGN
- 銅賞 (有)リビングデザイン
- 敢闘賞 (株)景匠館

### B部門 スペース提案1部門

#### 金賞 (株)サンホーム

- 銀賞 (株)トーク興産
- 銀賞 (有)ハンド
- 銅賞 NT DESIGN
- 銅賞 SUPPORT
- 銅賞 Niwa洒落
- 敢闘賞 住友林業緑化(株) 東京南営業所

### C部門 スペース提案2部門

#### 金賞 (有)エクステリアの森

- 銀賞 武田左官工業所
- 銀賞 パナホーム(株)  
名古屋支社 外構・造園営業センター
- 銅賞 (有)匠環境設計事務所
- 銅賞 (株)マサミガーデン
- 銅賞 (株)ひまわり造園土木
- 敢闘賞 (株)閑野組積

### D部門 リフォーム部門

#### 金賞 (株)フジジュウ

- 銀賞 飛鳥グリーン(株)
- 銀賞 (有)太田川工業
- 銅賞 ハウジングプラザドリーム 名張店
- 銅賞 東都住宅(株)
- 銅賞 (有)栄光ブロック
- 敢闘賞 (有)タイ建設

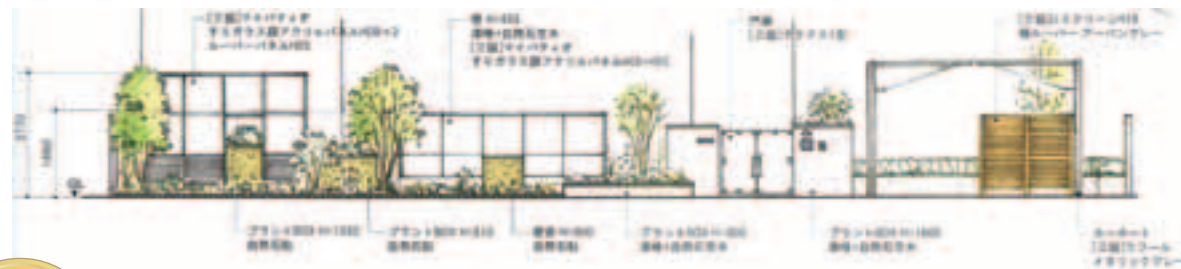
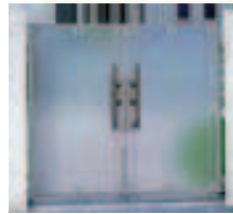
### 御庭番特別賞

- (有)オオシマ
- (株)ヤハタ
- (株)ミスターリホームサービス
- ライファ今治
- (有)貝野建成
- (有)平松建設
- ジャービス商事(株)建設部
- (有)シティーエクステリア

金賞

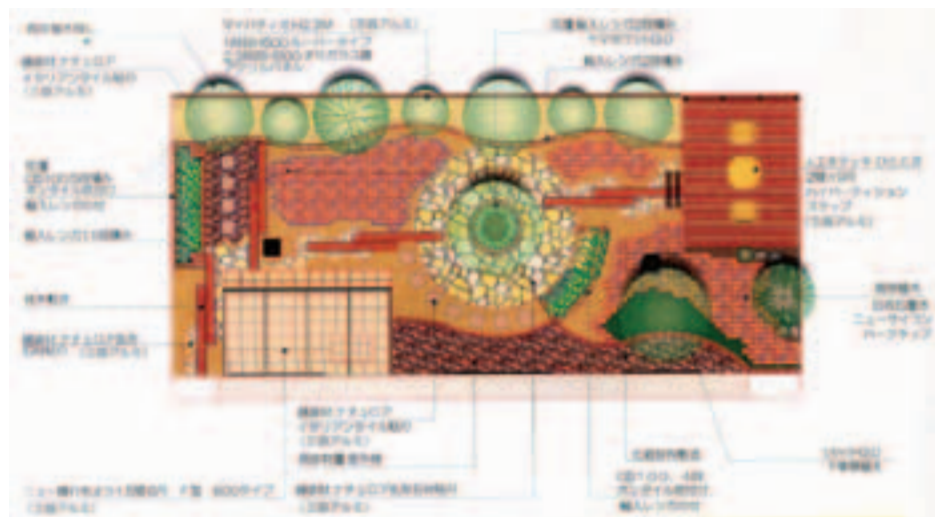
新世代向け部門 (有)ガオー

透明感のある境界の仕切りからは、街並への調和と優しさに加え、内側には光を感じる明るさとモダンな感覚で心地良い庭空間が得られます。この作品は、「アクアス」門扉をはじめ「マイパティオ」のアクリルパネルでお洒落なシースルーなエクステリアデザインとして、完成度の高いものとなっています。

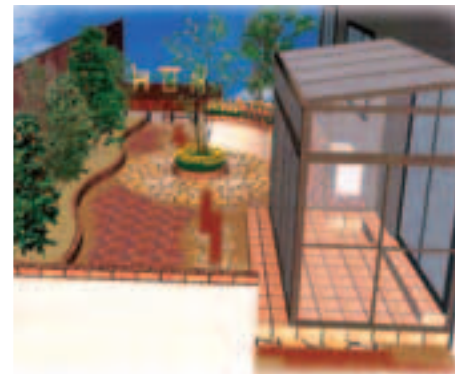


金賞

スペース提案 1部門 (株)サンホーム



外の庭部分を積極的に有効に活用する事を、提案した作品です。空き地化していた庭を、ナチュラル、レンガ、枕木などで変化のあるペービングを施し、豊かなガーデンとなっています。植栽部分のレベルを高くする事で、除草などをし易くする配慮など、高齢者への対応、デッキスペースを建物から離れた部分に創り、敷地内にミニリゾート感を演出したデザインなどのアイデアがひかります。



金賞

スペース提案 2部門 (有)エクステリアの森



シンプルモダンな住宅デザインでは、後付けになりがちなエクステリアの意匠は住宅全体のファサードデザインを大きく左右します。このプランニングでは、「マイパティオ」、「マイリッシュ」のシンプルなエクステリアエレメントを巧みに使用して、住宅デザインをより豊かに優れたデザインとして締め上げています。1軒の美しい家のファサードは、街並全体への美観に大きく貢献するでしょう。

金賞

リフォーム部門 (株)フジジュウ

子供達の成長、親との同居、来客用と、車社会ではカーポートを増やす事へのニーズは、多いと思います。このリフォームプランでは、角地という敷地条件から道路の隅切り部分に2台分の駐車スペースを新設しようです。出庫時に気になる右側の袖塀を、階段状にさげて右側からの視界を確保したりする配慮など、安全への計画もされているようです。

AFTER



BEFORE





# 2006年 エクステリア新商品展示会

3月29日の静岡を皮切りに、大阪、東京、名古屋の3会場で、新商品展示会を開催。今回は「空の下に 自在空間」を統一テーマに、キメ細かい提案でご案内しました。

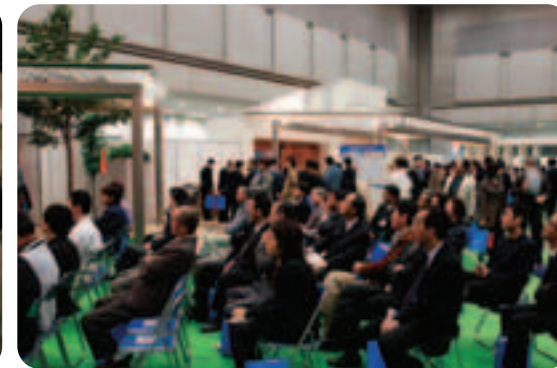
それぞれのゾーンで、空の下に広がる空間をもっと自在に活用するための、魅力的な商品群を揃えました。販店様様の反応も上々で、熱心に商品をご覧いただいたり、開発担当者に質問されたりといったシーンがあちこちで見られました。とくに新カテゴリ「ミューテリア」の新型シェードには、大勢のお客様の関心が集まり、熱気と意欲にあふれた展示会でした。



三協アルミニウム工業(株) 代表取締役 川村社長の挨拶

## 新商品をしっかり勉強してお客様に説明・提案してほしい

三協アルミニウム工業と立山アルミニウム工業は、6月1日をもって統合事業会社として新スタートを切ります。この厳しい業界で勝ち残るために一番大事なのは、新商品の開発です。昨年11月の「日経アーキテクト」における購読者アンケートでは、「業界をリードする新商品開発」の5つのうち3つに弊社の製品が選ばれ、そのうちの1つは立山アルミとの合同開発商品でした。そのように、我々にはそれなりの開発力がありますが、統合を機に総合力を発揮して、さらによい商品を開発し続けていかなくてはなりません。そして展示会では、その新商品をしっかりと勉強し認識して、お客様にきちんと説明し提案していただきたいと思ひます。



テーマゾーン
ミューテリアゾーン
スペース提案ゾーン
住宅様式ゾーン
戸建(GEX、WEX)ゾーン
PEXゾーン
提案ゾーン
施工ポイント紹介コーナー
御庭番コーナー



## ミューテリアゾーン

# 「空の下に 自在空間」より高品位な自在空間を、さまざまに具現化して提案・提供!

## 自在性の高い「新型シェード」で生活スタイルに合わせたマルチ空間を提案

「空の下に 自在空間」というコンセプトの実現に向け、新しい商品カテゴリとして誕生した「ミューテリア」。そのフラッグシップ商品となる「新型シェード」がお披露目されました。展示サンプルは、10mのワイドスパンで開放感ある大きなシェードと、中央からシンボルツリーが飛び出したシェードで、前庭・アプローチ・パティオ・カーブスペース・花壇など、家族の生活スタイルに合わせてマルチに使える空間を提案。その自在性は、プレート自体が強度をもつ構造体「プレートトラス」の技術によって、はじめて可能になったものです。もちろんU.S.スタイルで培った、建物や敷地の形状に合わせて設置できる自在性も備えています。現在は試作段階で、発売は秋になる予定です。



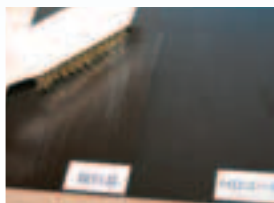
屋根の中央に穴をあけ、シンボルツリーを飛び出させたユニークなプラン。こういう自由な形状をつくれるのもトラス構造ならではの強みです。



新型シェードの屋根ユニット。パネル(ポリカ)を組み込んだプレートトラスはアルミ製なので非常に軽く、このユニット全体でわずか30kg。

## 柱・梁は「HDコート」で耐久性がさらにアップ

柱・梁の表面は、HDコート(高耐久電着塗装)で仕上げているため、従来よりも耐傷付性が約2倍、耐候性が約30%もアップ。このHDコートは「カムフィネオ」にも採用されています。



サンプルをこすって実験。従来の塗装面(左)に比べ、HDコート(右)は傷がつきにくい事を体感。

## ミューテリアのデモンストレーションを大勢のお客様が熱心に注目



ミューテリアゾーンの一角では、映像を使ってミューテリアのライブ・デモンストレーションを行い、ミューテリアというカテゴリや、新型シェードの特徴・使い方を具体的に説明。お客様の関心も非常に高く、つねに大勢の方々が集まって熱心に視聴されていました。

## 会場でお聞きしたお客様の声

### 「新型シェード」に感嘆!

「いいねえ! 屋根が明るいし軽い。いろんなところに应用できそうだな」「ガレージ兼アプローチとか、狭い敷地でも有効に使えるね」「折半屋根と同等レベルという施工性のよさがいい! 使ってみよう!」



(株)景匠館 営業・千田弘子様、デザインセンター・山岡由佳様、藪内良子様  
「シンプルモダンでおしゃれ。公共的なイメージもあるので、個人邸以外にも、幼稚園とか公園、ショップなどにも提案できそうですね」



(有)畑造園土木 代表取締役・畑俊一郎様

「モダンな家のファサード部分によく似合いそうですね。限られた土地を有効活用したいというお客様のご要望も多いので、たとえばガレージとアプローチを兼用するなどして使いたいですね」



(有)エクステリアアルファ 代表取締役・菅谷文雄様

「第一印象は、大きい!面白い!でした。トラス構造を屋根に使うというのは斬新な発想で、視覚的にも新しく、車2~3台が一挙に収まるのも魅力。大きいのに施工が簡単なのも嬉しいですね」

## 開発担当者が語る「新型シェード」

### プレートトラスを屋根に使うのは画期的強度計算にはかなり苦労しました

#### 「新型シェード」開発のきっかけは?

大石 事業部コンセプトの「空の下に 自在空間」を実現するため、「ミューテリア」という新しいカテゴリ向けの商品を開発することになり、まずは「庭を屋根でおおって、もっと有効に使おう」ということで、デザイン室や企画グループと、われわれ設計担当でチームを組んで、去年10月ごろからスタートしました。こうしたい・あしたいという理想と、やれる・やれないという技術面・コスト面の間で、何度も話し合いました。

#### ――屋根の形状がユニークですね。

大石 技術開発本部から技術提案されたもので、プレート自体が強度をもつ「プレートトラス」という構造体。軽くて強度があるのが特徴です。この構造体を屋根として使うのは画期的だと思います。



エクステリア商品開発部・商品開発1課 大石主任(左)、村井主任(右)

#### ――柱や梁にも特徴がありますか?

村井 デザイン的には、柱と梁の接合部をナナメに額縁状にして、より一体化した感じを出しました。強度計算はかなり厳しかったですね。トラス構造の屋根が軽いとはいえ、10mもの間口を4本の柱で支えるためには、かなりゴツイ柱や梁にしなければならぬ、そうなるとうまく施工が難しくなる。そこで、梁にトラス構造を応用して軽くすることにしました。

#### ――お客様にどう使っていただきたいですか?

大石 とにかくお客様の理想をかなえる為「自由」に提案して頂きたいですね。村井 この商品をきっかけに、今まであまり活用していなかった場所を有効活用していただけたらうれしいですね。

## スペース提案ゾーン

### 囲い商品「スマイリア」で バルコニー下のスペースを有効活用



この通り、シャッターボックスがついていても設置可能。



格子状の目隠しスクリーンも用意。住宅と一体感のあるデザインに。

「スマイリア」はバルコニーの下のスペースを有効活用。躯体バルコニーを屋根とするため、垂木掛けを躯体に打ち付ける必要がなく、シャッターボックスなどの障害物があっても施工できます。また、躯体バルコニーに直接ネジ止めしないので、躯体を傷めません。柱カバーや腕木を工夫して、住宅と一体感のあるシャープなデザインを実現。“ベットと暮らす”“洗濯物を干す”など生活スタイルに合わせて商品選びができます。

## 住宅様式ゾーン

### スタイリッシュな「アクセントリア」で ファサード空間を自分流にアレンジ

「アクセントリア」は、住まいとファサードとの美しいバランスを表現する新しいアイテムとして、パーティションをはじめ門まわりの機能を多彩にラインナップ。格子やパネルなど4つのデザインに、色も木調からシルバーまで5色を用意。曲面も手軽につくられて、自由でおしゃれなエクステリアを演出できます。



ジャパネスクモダンターゲットに  
新色カフェローニアの  
堅格子でならぬ曲面を演出。

### 柔らかい曲線や、アクセントパーツで ひと味違う「鋳物シリーズ」誕生

スタイリッシュな直線にタイルのパーツがおしゃれっぽい「シンプルライン」、ハーブをモチーフにしたナチュラルテイストの「ハーベリー」、柔らかなラインなどに鋳物製品の質感を表現した「プロヴァンス」。シンプルモダンから南欧風まで、さまざまな建物の雰囲気に合わせて、門まわりに個性と高級感を。



左が「プロヴァンス」、右が「ハーベリー」シリーズ。



シンプルモダンの家にぴったりな「シンプルライン」シリーズ。

## 戸建(ガーデンエクステリア)ゾーン

### 左右対称のR屋根デザインと延長梁が魅力。 スマートなカーポート「カムフィネオ」



デザインも動線もスマートなカムフィネオ。

カムフィシリーズの新商品「ネオ」は、屋根の傾きが左右対称になって、跳ね上げ門扉をつけても美しく調和するようになりました。また、延長梁で柱を逃がせるので、敷地に合わせてゆとりある駐車スペースを確保。カムフィシリーズは、このほか、強風による屋根パネルの抜け強度をアップした“台風対策”の新商品もあります。

## 戸建(ウォールエクステリア)ゾーン

### 木調スクリーンを追加した「ナチュレ」 外鍵をつけた「ニュー晴れもよう」



「ナチュレ」は木調スクリーンの追加で、よりナチュラルでおしゃれな外観に。

テラス「ナチュレ」は、スタイリッシュな木調スクリーンを追加して温かみのある外観に。掃き出し窓の前を囲う「ニュー晴れもよう」は、お客様からのご要望が多かった“外からも開け閉めできる鍵”を新たに用意。庭いじりやお子様様の外遊びのあと、気軽に出入りできて、しかもセキュリティ上にも配慮しました。



鍵を追加して、  
より便利・安全になった  
「ニュー晴れもよう」。

## パブリックエクステリアゾーン

### スマートな都市景観を創造する通路シェルター「レイロード」1本柱 新登場

街路やバスターミナルに設置する通路シェルターに、「レイロード」シリーズが新登場。柱と梁を一体化し柱内に雨樋を通したスマートなデザインに、屋根は従来のアーチ型や山形でなく、シャープな片流れのフラット屋根が特徴。設置条件に合わせて、安定感のある両支持タイプや、使い勝手のよい1本柱タイプを選べます。

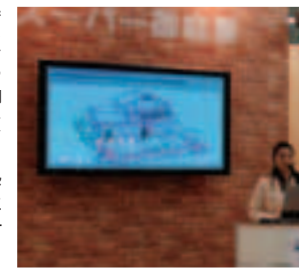


動線がスムーズな  
「レイロード」1本柱タイプ。

## 提案ゾーン

### 提案のレベルアップをめざして 施工ポイント紹介や御庭番のセミナーも活用

「施工ポイント紹介コーナー」では、VTRで跳ね上げ門扉の施工法を紹介するとともに、よくある施工の不具合を写真で解説。「御庭番コーナー」では、外構作図支援システム「スーパー御庭番」を使った提案が行われ、お客様も熱心に注目。設置されたパソコンに向かいながら個別に質疑を交わすシーンも見られました。



「御庭番コーナー」のデモンストレーションには大勢のお客様が。



「施工ポイント紹介コーナー」で施工のレベルアップを。

## 御庭会通信

### 栃木御庭会 研修会

12月6日 宇都宮東武ホテルグランデ

栃木御庭会発足後、最初の研修会を行いました。今回は(有)エクスプランニングの古橋宜昌先生を講師にお迎えし、EX.VIEW掲載のプランニング講座内容の解説をしていただきました。即、実際の仕事に役立つ内容でもあり、大変有意義な研修となりました。研修会後には懇親会も行われ、栃木御庭会のますますの結束を固める有意義な会となりました。



### 東海御庭会 総会

1月25日 オークラクトシティホテル浜松

東海御庭会では総会が開催されました。今回は講師に(株)ランドマーク計画事務所 加藤隆士先生をお招きしました。外構プランについて実際の施工例を基に提案における考え方や工夫の仕方など丁寧・熱心に説明を頂きました。講演後の懇親会にも参加頂き、参加者からの質問等にもわかりやすく応えて頂き、大変有意義な会になりました。



### 群馬御庭会 総会

1月30日 前橋東急インホテル

群馬御庭会でも総会が開催されました。総会後の講演に(有)エクスプランニング古橋宜昌先生をお招きして、ゾーニングテクニックの内容を中心にわかりやすく説明していただきました。又、講演後の懇親会にも御参加いただき、会員メンバーとのやりとりも白熱したものとなりました。



## 御庭番スタッフ紹介

栃木県那須塩原市  
株式会社 三和光産様

積算室兼社長室 室長 渡辺圭様



### 競合に勝つために御庭番は必須。 上達のコツですか？ とりあえずさわることです

当社では5年前に御庭番を導入し、私が担当に。当時の私は手描き図面を描いたこともなく、ほとんど素人同然でしたが、御庭番はあっという間に使えるようになりましたね。最初の2日間の講習で描きたい描けるようになり、1~2カ月でマスターしました。当社にはもう1台、他社のキヤドがあるんですが、御庭番のほうがコマンドがわかりやすく操作性がいいんです。たとえば、どのボタンを押したら、どんな絵が描けるのかがわかりやすい。ですから、私のような初心者や、機械は苦手という方でも入りやすいと思います。上達のコツですか？ とりあえず「さわること」だと思います。簡単な絵でいいから描いてみる。そうしていくうちに、だんだん描けるようになります。御庭番で描いたカラーパースはきれいでリアルで、お客様の反応も非常にいいですね。相見積もりに勝つためにも、もう今や御庭番は「あったらいい」ではなくて「必須」です。

現在、月に30枚ぐらい図面を描いています。忙しい時期は土日もなかなか休めませんが、休みの日は読書したりCDを聴いたり、家で静かに過ごすことが多いですね。何もしないでボーッとしているのが、一番のリフレッシュになるんです(笑)。



EXTERIOR VIEW 2006  
Vol.28